



© 2000 KENFOTEC BOOKSTART
Bookstart

Sep 2015

No.50

Bookstart Newsletter

NPOブックスタート
Bookstart Japan

東京都新宿区新小川町5-19 角田ビル3階 〒162-0814 Tel: 03-5228-2891 Fax: 03-5228-2894
E-mail: infobs@bookstart.or.jp URL: www.bookstart.or.jp

行ってきました!

群馬県高崎市

広大な関東平野の北端に位置し、全国屈指のだるまの生産量を誇る群馬県高崎市。ブックスタートは、こども家庭課を中心とする行政各課と、市から運営を委託されたボランティア団体が協働で実施しています。総勢65名のボランティアが、知恵を出し合い、手を取り合いながら行っている高崎市のブックスタート。絵本を開く楽しいひとときとともに、「地域みんなで子育てを応援していますよ」というメッセージを、親子に丁寧に届けています。



【ブックスタート開始年月】2012年7月 【対象月齢】3か月
【年間出生数】約 3,100人 【実施機会】股関節脱臼検診
【事務局】こども家庭課
【連携体制】こども家庭課、健康課、各支所市民福祉課、図書館、
社会教育課・中央公民館、ボランティア(6団体)

会場の様子 ※高崎・新町地域

実施のタイミング:股関節脱臼検診終了後 対象者数:約100組/回

絵本の体験

ゾウヤリスなど、動物のイラストが掲示された各コーナーで、1~3組の親子に絵本を読みかせ。その後、市内の子育てサークルなどの活動場所を示した地図を広げて、子育て情報を紹介します。



ブックスタート・パックを手渡し

4種類の絵本から保護者が選んだ1冊を、コットンバッグに入れて手渡します。



こんな工夫も…

◎ 絵本紹介コーナー



おすすめ絵本情報

題名 : てんとうしはっ
作者 : 中川 ひろたか
出版社 : ブロンズ新社
出版年 : 1993年
ISBN : 978-4-89309-455-1
書誌番号 : 3-0001190016



高崎市立中央図書館
絵本の情報カード

図書館職員やボランティアがおすすめ絵本を紹介。気になった絵本を、後で図書館や書店で探せるよう、自由に持ち帰ることができる絵本の情報カードを用意しています。

◎ 案内ボード



検診の待合コーナーに設置。活動の趣旨や、後日公民館でもブックスタートを受けられることが紹介されています。



お話をうかがいました！

こども家庭課こども企画担当
石井 裕子さん



Q 主管課として大切にしていることは？

各会場の運営はそれぞれのボランティア団体を中心に行っていますが、こども家庭課の職員も会場に向き、活動が円滑に行えるよう協力しています。また日頃から、実施報告書を関係各課で回覧するなどして情報共有を心掛けているほか、運営委員会では、各会場の様子や関係各課の情報を共有したり、課題や要望について皆で話し合ったりしています。

Q 市民に運営を委託した経緯は？

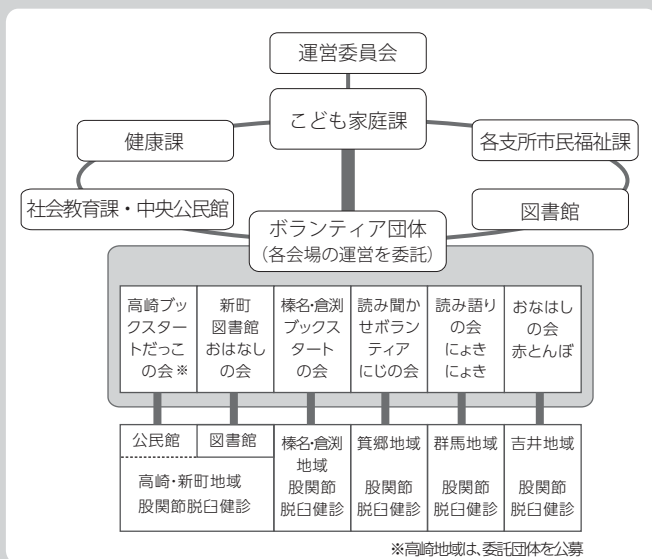
高崎市は広域で、地域によって出生数も大きく異なるため、事業を立ち上げる際は、すべての地域できめ細やかに対応するための体制づくりが課題となりました。幸いなことに、市内には親子のために自主的に活動をしている団体がいくつもあります。そこで、そうした皆さんに実施方法を提案してもらい、運営も委託することで、市民と協働しながら最適なやり方で実施できるのではないかと考えました。

Q 運営を委託して良かったことは？

たとえば、市民からの提案をもとに、公民館でもブックスタートが受けられる体制を整えるなど、行政では気付かない視点を取り入れて、事業を運営することができています。それぞれの経験を活かしながら、親子と同じ、市民ならではの目線で対応してもらえるので、保護者がホッとできる場になっています。

～ 高崎市ブックスタート運営体制～

主な会場は市内 5 か所で行われる股関節脱臼検診ですが、公民館や図書館でもブックスタートが受けられる体制を整えています。各会場の運営は、ボランティア団体に委託。事業を円滑に実施するため、事務局のこども家庭課が中心となり、有識者や関係各課、ボランティアの代表が集まる運営委員会を開催しています。



公民館でのブックスタート



写真提供：高崎市

小学校区ごとにある公民館でもブックスタートを受けることができます。家の近くに数千冊の本が揃う公民館図書室があることを、子育て世代に周知する機会にもなり、公民館の活性化につながっています。

高崎ブックスタートだっこの会 <高崎地域委託団体>
横山 由美子さん(左)・高見澤 佳子さん(右)



Q 高崎地域では、子育て支援や読みきかせなど4つのグループが集まり「だっこの会」として活動していますが、委託団体に手を挙げた理由は？

これまでたくさんの親子と関わる中で、孤立した環境で子育てをしていたり、子どもとの接し方に悩んでいる保護者が増えているように感じていました。各々の活動でも、子育てに役立つ情報を伝えてきましたが、一部の人への支援に限られていました。でも検診で行われるブックスタートは、すべての親子が対象となります。そこで絵本を介した赤ちゃんとの関わり方を伝えられれば、保護者の子育てが少しでも楽になるのではないかと考え、ぜひ協力したいと思いました。

Q 親子にどんなことを伝えていきますか？

3か月の赤ちゃんの発達について、保健師を講師とした勉強会を行いました。そこで学んだことを参考に、「今は耳から聞く時期なので焦らなくていいですよ。無理をしないで、言葉をかけてあげればいいですよ」と伝えるよう、皆で共有しています。



Q 運営していく上で大切にしていることは？

立ち上げ時、グループごとに色々な考えはあるけれど、親子に笑顔で帰ってもらいたいという思いは共通であることを確認し、そのためにはどうしたらよいかを話し合いました。すると、マットを敷こうとか、係を決めようとか、様々なアイデアが出てきました。事業開始後も意思を統一することを大切に、研修会を行ったり、ブックスタートの前に活動の趣旨を読み上げたりしています。皆で手を取り合い、力を出し合える。それは、私たちにとって大きな誇りであり、活動の原動力にもなっています。



Q ブックスタートに協力してくれる人を増やすために行っていることは？

小学校で読みきかせをしている保護者や、活動に興味はあるけれど今は子育てで忙しいという方にも声をかけ、ブックスタートの見学や研修会に誘うなどしています。子育て世代の人たちに、今すぐは難しくても、協力したいという気持ちを持ち続けてもらい、できる時が来たらボランティアとして関わってもらう。この活動を次の世代にもつなげていくことが、この大事な事業を長く継続する上で大切だと考えています。



取材の最後に、石井さんが「高崎市の自慢は“人”なんですよ」と話してくださいました。親子にとっての最善を常に考え、行動している高崎市の皆さん。その熱い思いは次の世代にも引き継がれ、親子の幸せのために行動する人々の輪が、ますます広がっていくのだろうな、と思いました。(大津)

2016-2017年度 ブックスタート赤ちゃん絵本20冊が決定

各地域のブックスタートで、2016-2017年度に赤ちゃんに手渡される絵本の候補となる「ブックスタート赤ちゃん絵本20冊」が決定しました。対象者に手渡される絵本は自治体ごとに選ばれ、NPOブックスタートから提供されます。なお、絵本の提供は、出版界の協力を得た「非営利のしくみ」の中で行われています。

■ 独立した中立的な「絵本選考会議」

ブックスタート赤ちゃん絵本20冊は、2年に一度開催される独立した中立的な「絵本選考会議」で選出しています。赤ちゃん絵本に関する知識と経験が豊富な5名の選考委員(乳幼児発達の専門家、司書、保育士など)が、日本国内で出版されている赤ちゃん絵本*の中から、選考基準に基づき、選考を行います。

2015年5月に、2日間にわたり開催された選考会議では、各委員の専門的な視点や豊富な実践経験から、様々な意

見が交わされました。候補に挙がった絵本を、実際に声に出して読みながら魅力を味わったり、それらの絵本を赤ちゃんとどのように楽しんだか、赤ちゃんや保護者がどのような反応を見せてくれたかなどの経験も共有。また、自治体の事業の中で手渡されることなども考慮した上で、選考を行いました。



* NPOブックスタートでは、日本国内で出版されている赤ちゃん絵本を収集・所蔵しています。これらの絵本と、各選考委員から推薦された絵本を合わせた、約4,700冊の中から選考を行いました。

選考基準

- ・ 赤ちゃんが保護者と豊かな言葉を交わしながら楽しい時間を過ごすことで、心健やかに成長することを応援する絵本。
- ・ 上記に関し、年月を経て赤ちゃんから支持され続けてきた絵本。
- ・ 上記に関し、今後、赤ちゃんからその支持を受ける可能性が高い絵本。

選考委員 *敬称略・五十音順

- ・ 遠藤 利彦
(乳幼児発達/東京大学大学院 教授)
- ・ 金澤 和子
(市民グループ「子どもと本」代表)
- ・ 庄司 みゆき
(保育士/東京都武蔵野市まちの保育園吉祥寺 園長)
- ・ 永島 緑
(司書/大阪府豊中市立図書館)
- ・ 平田 恵美子
(沖縄県子どもの本研究会 顧問)

2016-2017年度 ブックスタート赤ちゃん絵本20冊

*タイトル五十音順

『あそび』	作/ヘレン・オクセンバリー (文化出版局)
『いないいないばあ』	文/松谷みよ子 絵/瀬川康男 (童心社)
『おつきさまこんばんは』	作/林明子 (福音館書店)
『おふろで ちゃぷちゃぷ』	文/松谷みよ子 絵/いわさきちひろ (童心社)
『がたん ごんがたん ごん』	作/安西水丸 (福音館書店)
『かにこちゃん』	作/岸田衿子 絵/堀内誠一 (くもん出版)
『くだもの』	作/平山和子 (福音館書店)
『くっついた』	作・絵/三浦太郎 (こぐま社)
『ごぶごぶ ごぼごぼ』	作/駒形克己 (福音館書店)
『じゃあじゃあ びりびり』	作・絵/まついのりこ (偕成社)
『だっだあー』	作/ナムーラミチヨ (主婦の友社)
『だるまさんが』	作/かがくいひろし (プロンズ新社)
『ちょうちょう ひらひら』	文/まど・みちお 絵/にしまさかやこ (こぐま社)
『ととけっこう よがあげた』	案/こばやしえみこ 絵/ましませつこ (こぐま社)
『はらぺこあおむし』	作/エリック・カール 訳/もりひさし (偕成社)
『ぴょーん』	作・絵/まつおかたつひで (ポプラ社)
『ぶうさんのプー』	作/100%ORANGE (福音館書店)
『もう おきるかな?』	文/まつのみさこ 絵/やぶうちまさゆき (福音館書店)
『もこ もこもこ』	作/谷川俊太郎 絵/元永定正 (文研出版)
『ゆめ にこここ』	作・絵/柳原良平 (こぐま社)

■ 地域で手渡す絵本を決定する際に……

「絵本選考会議」では、候補となった絵本を委員どうしで読み合い、一冊一冊の魅力について意見を出し合いながら、様々な環境の中で子育てをしている保護者にこれらの絵本がどのように受け止められるか、などについて確認する作業が繰り返し行われました。

地域で手渡す絵本を決める際には、ぜひ関係者の皆さんで、実際に絵本を手に取り、読み合い、絵本の世界を存分に楽しみながら選んでみてください。「この絵本でどんな時間が過ごせるかな」と、赤ちゃんや保護者の気持ちを想像することができるのではないのでしょうか。

□ 絵本を貸し出します

ブックスタート赤ちゃん絵本20冊の見本を貸し出しています。

地域で手渡す絵本を決める際にご利用ください。

*お問い合わせは地域支援担当まで。

*返却時の送料(実費)のご負担をお願いしています。



■ 非営利のしくみによる絵本提供

□ 特別な価格と流通の適用

ブックスタート赤ちゃん絵本20冊は、提供出版社に得失のない「特別支援価格」で、かつ通常の書籍流通と異なり、出版取次会社や書店を経由せず、出版社から直接NPOブックスタートに提供されます。そしてブックスタートで親子に手渡す絵本として自治体に購入されます。

このしくみは、2000年の子ども読書年の際に、出版界(出版社・出版取次会社・書店)がブックスタートを応援することを確認して行った「ブックスタート・パックの絵本提供のしくみからは直接的な利益を得ない」という合意に基づき、運用されています。

□ 活動の普及と充実を支える

特別な価格と流通を適用するこの「非営利のしくみ」によって、実施自治体に対する廉価でのパック提供が実現され、またその販売収益によって、NPOブックスタートが行う各種資料の発行及び提供、研修会の開催など、各地のブックスタートを支援する事業や組織運営が可能となり、全国各地の活動の普及と充実が支えられています。

*「非営利のしくみ」はNPOブックスタートを通じて提供する「ブックスタート赤ちゃん絵本20冊」のみに適用されます。適用の範囲は、ブックスタートの目的である「最初のきっかけづくりの機会」に「対象者に手渡す分」のみとなります。

→次ページにつづく

～ 各地の絵本の選び方～

地域によって手渡す絵本の決め方は様々ですが、その過程や選考理由を明らかにし、関係者で共有しておくことが大切です。

CASE
1

富山県小矢部市

20冊すべてを十分に理解した上で

図書館主催の研修会で講師を務める絵本の専門家に、20冊の特徴を解説してもらった他、図書館員とボランティアが、20冊を実際に手に取り意見交換をします。その後、市として手渡す絵本の投票を行い、図書館内で協議した上で、最終決定します。手渡す2冊の絵本は、特徴の異なるタイトルを組み合わせ、親子に様々な種類の絵本を届けられるよう配慮しています。

CASE
2

宮崎県小林市

委員会を立ち上げ検討

絵本の選考にあたり、図書館員やボランティアなどの事業関係者及び、保育士や幼稚園教諭、絵本に関心のある保護者による委員会を立ち上げています。委員会のメンバー全員でブックスタート会場を見学した上で、20冊すべてを手に取り話し合います。特に保育士や幼稚園教諭、保護者からは、事業に直接携わるスタッフとは異なる視点での意見も出されるため、大変参考になります。決定した絵本のタイトルと理由は、研修会などで関係者全員と共有をしています。

～選考委員から～ *敬称略・五十音順

遠藤 利彦 (乳幼児発達/東京大学大学院 教授)



赤ちゃんにとって、おもちゃと絵本の区別が最初から明確にあるわけではありません。赤ちゃんの絵本の受け容れは、目新しく魅力的なおもちゃに自然に引き込まれていくのと、さして変わらないのかと思います。そうした意味で、一つには、おもちゃの場合と同じように、赤ちゃんの好奇心を駆り立て、さらに赤ちゃんがそれに自発的に関わる中で新たな発見が得られそうなものを選ぶよう心がけました。もう一つには、養育者が、ただ大人目線で関心を惹かれそうなものではなく、絵本を見ている赤ちゃんの様子に接する中で、それまで知らないでいた赤ちゃんの意外な力や個性を見いだせそうなものを選んでみました。

金澤 和子 (市民グループ「子どもと本」代表)



赤ちゃんが心地よいと感じる絵本、保護者と豊かな楽しいひとときを過ごせる絵本を中心に、言葉のリズム・色彩・コミュニケーション力など、様々な角度から、また実際に寄せられた保護者からの声も反映させながら、選考にあたりました。たくさんの絵本の中から20冊に絞り込む作業は、緊張しつつも、ワクワクドキドキ楽しい時間でした。さらに、委員の皆様の言葉の端々から伝わる、絵本への熱い思いや子どもたちとの関わり方など、共感することが多々あり、貴重な学びの場にもなりました。すべての赤ちゃんに、これらの絵本が届き、幸せな時間がもたらされますように……。

庄司 みゆき (保育士/東京都武蔵野市 まちの保育園吉祥寺 園長)



本会議の参加にあたっては、保育園で、子どもたちが長く親しんできた絵本、子どもと大人が対話を楽しみながら、繰り返し楽しんできた絵本、そして、子どもの心が豊かに育つような、これから先長く親しまれると思う絵本を中心に選ぶ作業を行いました。選考の過程は、本当に楽しく有意義な時間でした。2日にわたる会議では、委員の方々の絵本に対する熱い思いに触れ、私自身も、新たな絵本との出会いや発見がありました。選ばれた絵本の奥深さに改めて感動したり、究極の選択に苦しみも味わいながら、誠心誠意選びました。子どもと保護者が、この絵本たちと出会い「かけがえのない今」と「心地よい幸せな時間」を繰り返し味わってほしいと願っています。

永島 緑 (司書/大阪府豊中市立図書館)



前回に引き続き選考に関わることになり、身が引き締まる思いの一方、今回はどんな方たちと絵本についてお話ができるかというわくわくする気持ちも。予想通り、今回もそれぞれの立場から多くの経験を元に絵本に関して意見を出し合い、選考するという貴重な体験をさせていただきました。図書館や街中で出会う親子も、環境や考え方はさまざまで、それだけに絵本の持つ可能性もまた無限大だと思います。子育てに正解がないように、このリストにも正解はありません。それぞれの状況に合わせて、地域の子どものために地域の皆さんが思いを込めて選ぶことが、大切な一つのメッセージです。これらの絵本の一冊一冊が、地域の赤ちゃんの幸せにつながる絵本となりますように。

平田 恵美子 (沖縄県子どもの本研究会 顧問)



乳幼児期は五感を通して色々なものを知り、その時期の大人との関わりで信頼関係が育つといわれます。そんな大事な時期にどのような絵本に出会わせたら良いか。絵と言葉、リズムなどが美しく、生き生きと表現され、子どもが喜ぶか。親子がコミュニケーションをはかるのにふさわしいか。そして、親が物語を深めることができるかということに視点を絞って選考しました。さらに、昨今の家庭環境にも配慮しました。選考会議1日目のプレゼンでは、各委員からそれぞれ絵本及び実践の紹介が行われました。2日目の選考会議では、熱心な討議の結果、20冊の絵本が決まりました。これまでに選ばれたことのある絵本に加えて、新しいものも数冊加わりました。どれもブックスタートにふさわしい絵本だと確信します。

ブックスタート・パックを 安全で衛生的にお届けするために

「ブックスタート赤ちゃん絵本20冊」やコットンバッグなど、赤ちゃんが直接触れるパックアイテムについては、安全や衛生面に配慮して検査や検品を行い、自治体へお届けしています。

● 絵本

赤ちゃんがなめる可能性のある外側のコーティングについて、外部の検査機関で食品衛生法に基づいた検査を行っています。また、毎月NPOブックスタートに納品される度に、抜き取りで品質検査を行っています。

● コットンバッグ

日本メーカーの中国工場で作成しています。現地での検品を経て日本へ搬送後、再度全数を検品します。国内では金属探知機を通した後、一つずつ規格や品質を検査して袋詰めします。またプリント生地については、製作ロット毎に、おもちゃの安全性基準に基づいた検査を日本国内で行っています。



国内での検品。サイズや、色、縫製、汚れなどを厳しくチェックします。検品に合格したバッグは一つずつ袋に詰めてから出荷します。

● よだれかけ

ベビー服の品質基準に基づき、国内のベビー用品工場（ノンホルムアルデヒド工場）で作成しています。NPOブックスタートに納品される度に、全数を検品しています。

● 個包装のポリ袋について

コットンバッグやよだれかけは、安全性や衛生面に配慮して個包装しています。包装用のポリ袋は食品の包装材料としても認められているポリプロピレン製。湿気を通しにくく、また焼却しても有毒ガスが発生しない素材です。

各地域では、パック詰めの際に外したポリ袋を、靴入れやオムツ入れとして再利用したり、リサイクル可能な資源ゴミ（容器包装プラスチック）として回収することもあります。



静岡県三島市



3か月児健康教室で実施。
一組一組に絵本を開き、活動の趣旨を丁寧に伝えています。



受付で配付する番号札。
ブックスタートを受けた親子から回収し、パックの渡し漏れを防ぎます。

徳島県三好市



2015年4月から
乳児股関節脱臼検診
で事業開始。



初回は、ウサギさんも親子
を出迎えました。

福岡県みやま市



2015年9月からの事業開始
にあたり、新たに絵本リスト
を作成。赤ちゃんへの思いを
込めて、1冊ずつリボンで綴じ
られています。

図書館での再会が嬉しいブックスタート

埼玉県 三芳町立図書館 館長
NPOブックスタート理事
代田 知子



ある日、図書館に本を返しに来た女性が、私を見て「あっ」と笑顔になりました。数か月前にブックスタートで担当した赤ちゃんのお母さんだったのです。彼女は、再会を喜んでくれ、ベビーカーのそばにいたご主人を呼び寄せ、「ブックスタートの人よ」と、紹介までしてくれました。

絵本を2冊読む三芳町のブックスタートでは、1組の所要時間が7～9分。短時間ですが、スタッフは保護者と一緒に赤ちゃんの反応を受け止め、一緒に驚き、笑い、絵本を読み合う楽しさも共感します。だから再会した時には、お互いにとても嬉しいのです。

さて、そのお母さんは、私に「図書館のおすすめ絵本をいろいろ読み続けているが、最近息子が手におえなくて……」と打ち明け始めました。

8か月児になった坊やが、同じ本ばかり読みたがる。違う本を読むと怒り、図書館に返すと泣く。今日返しに来た『のせてのせて』（松谷みよ子文・東光寺啓絵・童心社）と『ころころころ』（元永定正さく・福音館書店）は、1か月以上、毎日何度も読み、2度も借り直した。子どもには同じ本を好む傾向があるというが、度が過ぎる。今日こそ別の本を借りたいが、また泣くかもしれない、というのです。

そこで、そのお母さんをカウンターの隅っこに案内し、「絵本の本当の魅力は読んでもらわないと分からないというから、ちょっと聞いてね」と、『のせてのせて』と『ころころころ』をお母さん相手に読んでみました。「息子さんのように、絵とお話に集中してね」とお願いをして……。

読み終えるとお母さんは、「読み飽きたはずなのに、読んでもらうと2冊ともすごく面白い!!」と目を輝かせました。特に『ころころころ』には感銘を受けたようで、「同じ音だけの退屈な本だと思っていたが、まったく違った。不思議な世界に引き込まれた。目からウロコ! 息子の気持ちが分かった」と話してくれました。

「言葉の響きや絵と音の調和が楽しめる読みきかせには、映画や音楽鑑賞に似た魅力があるみたい。好きな音楽は何度も聞きたくなるでしょ」と伝えると、彼女は、「私、読み方を工夫して楽しんでいます!」と、また同じ絵本を借りて帰りました。

後日談。結局彼女は、この2冊を坊やに買ってあげたそうです。良かった、良かった。

保護者との再会チャンスを大切にするのが、ブックスタート・フォローアップの第一歩。絵本や読みきかせのことを気軽に聞ける図書館にしたいですね。



三芳町ブックスタートの様子

事務局からのお知らせ

「ブックスタート研修会in静岡」を開催します

日時：2015年10月19日(月) 10:30～16:00

会場：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

参加無料・事前申込制(定員150名)

<プログラム>

- ・ 事例紹介 静岡県浜松市/沼津市/三島市 より
- ・ ワールド・カフェ 「ブックスタートを語りおあう」

※ 詳細は当法人ウェブサイトをご覧ください

訪問記録

6月	4日 静岡県三島市	25日 静岡県函南町
	9日 群馬県高崎市	26日 埼玉県新座市
	16日 愛知県日進市	29日 千葉県鎌ケ谷市
	22日 兵庫県宝塚市	30日 茨城県石岡市
7月	2日 神奈川県大和市	14日 埼玉県志木市
	3日 福岡県みやこ町	27日 埼玉県幸手市
	7日 福岡県みやま市	
8月	10日 福島県南相馬市*	

* 福島県 読書活動支援者養成事業ステップアップ研修